

1人が2人 2人が3人...

地道な奉仕活動をしているのは、鳥喰新田に住む嘉瀬かねさん(69歳) 嘉瀬さわさん(74歳) 越川きよさん(67歳) 越川もとさん(76歳)の4人。

毎月一日に、地元にある稲荷神社の清掃を行っています。当初は、越川きよさんの義父ひとりで行っていたのですが、亡くなられてからは、きよさんが受け継ぎ、やがて4人のグループ清掃が始まりました。

早15年になるそうですが、境内の狛犬も長い間4人の姿を見守って、「ありがとう」と言っているようでした。

広がる奉仕の輪



左から越川きよさん、嘉瀬さわさん、嘉瀬かねさん、越川もとさん



掃き清められる稲荷神社

七夕に、五穀豊稔と人に代わってつらい仕事をしてくれる家畜への感謝をこめたこのならわし、今ではすっかりなくなってしまうかもしれません。チョッと淋しいですね。

まいも馬



でき具合はどうか



お母さんにまかせるね……

親子で馬づくり

7月6日、まご幼稚園では、まこも馬づくりをしました。

土屋庄一園長の指導のもとに、親子で挑戦。出来上がるのを待って、あちこちで元氣よく引張っていました。明日までもつかない？

文芸

短歌

雨にぬれその色冴ゆるえびね蘭
ぬれつつ園をめぐりて歩む

池田 春江

ひい孫を待ちし遺影の姑にまづ
肥立ち帰りの拓也を見する

宇井 ちい

上級生背負投げにやぶりしと告
げる吾子の息をはづます

大場 和可

たまはりしアジアンタムの小さ
き鉢葉裏に小さき胞子を持てり

掛川 友代

裸足にて渚をゆけば足跡のくぼ
みに潮のはつかににじむ

北田 ふじ

ははそはの母逝き朝毎となふれ
ばいつしかおぼゆ般若心経

向後 泰治

父の日を忘れぬ娘より電話受け
しばし余韻の中に身を置く

斉藤 要

子の足に止まり居る蚊を払ひの
け打たむとすれば体を騒しぬ

斉藤 佳子

チャルメラの音色ころろに沁み
いりて温泉街の夜は更けゆく

津田 若菜